テーマ研究・調査活動成果報告書

テーマ名	DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するための思考や人材に関する考察		
届出組織等名称	ITC大阪城		
成果物公開URL	https://www.itc-osakajo.jp/?page id=18		
当活動代表者 及び担当者連絡先	(代表者氏名)新保 康夫 電話番号:050(7103)1507 e-mail:info@shimchan.com	(担当者氏名)新保 電話番号:050(7103 e-mail:info@shimcha	3) 1507
研究•調査 成果概要	ICT(情報通信技術)の進化により、デジタル経営やデータ経営が小規模事業者や中小企業においても必要な時代となっています。このため、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しなければなりません。政府・自治体・民間企業のすべてがDXの対象です。小規模だからと言って、小規模事業者や中小企業も部外者ではありません。むしろ、生き残りのための必須対策になってきています。さらに、長期間によるコロナウィルス感染で、DXは加速されていると考えます。そのDXを推進するために、重厚長大であったり、旧態依然としたプロジェクトでは誰もDXが良いとは思わないでしょう。 DX推進を明るく、楽しく、ポジティブに出来れば全員がDXを良いと思ってくれるかもしれません。このため、DX推進を重たくならないようにエフォートレス思考を活用することで可能にならないかを考察しています。また、人・組織として心理的にライトウェイトに対応するアジャイルについて考察しています。今回は、以下の書籍を研究テーマの出発点として行いました。(1)エフォートレス思考 努力を最小化して成果を最大化する、かんき出版(2)心理的安全性とアジャイル「人間中心」を貫きパフォーマンスを最大化するデジタル時代のチームマネジメント、翔泳社WG活動をWeb会議とメーリングで進め、Web会議では、WGメンバでのミニセミナーを実施し、ディスカッションを行い、「製造業のDX導入を例としてのエフォートレス思考の活用案」と「エクストリームプログラミングの考え方等をDX時代の組織マネジメントへの適用思考」としITC大阪城独自の見解を創出しています。また、WGメンバが、商工会議所に個別に提案活動できるようにチラシを策定しています。		
成果物	以下が、成果物となります。 ●「DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進するための思考や人材に関する考察」報告書 ●商工会議所向け案内チラシ(WGメンバ限定) なお、本報告書については、後日、次の日時で報告会を開催し、ITコーディネータに報告いたします。日時:2023年3月8日(水) 14時00分~17時00分場所:コロナの影響を避けるため、Zoom Meetingによるオンラインで実施報告会用テキストについては、期間限定で報告会案内サイトにアップする予定 *青字は事務局で記入します。 事務局受付日 2023/1/30		
	* 青字は事務局で記入します。	事務局受付日 案件番号	2023/1/30 S22002

提出日: 2023年 1月 29日